

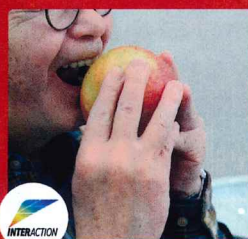
患者さんが 総義歯を 使いこなすための トレーニング法と 義歯調整法

著 **鈴木 英史**
Suzuki Eishi
日本補綴歯科学会専門医



患者さんが
総義歯を
使いこなすための
トレーニング法と
義歯調整法

■ 鈴木 英史 Suzuki Eishi
日本補綴歯科学会専門医



自費の総義歯を製作したのに
なぜ患者さんは
「リンゴ丸かじり」が
できないのか？

その疑問を **答え** がここに
即解決する あります

「真の総義歯治療」 が本書から始まる！

どんなに精度の高い総義歯を製作しても「噛めないものがある」——その原因は、「患者さんがその総義歯を使いこなせていない」ことにあります。

本書は、読んだその日から取り入れることができる「本当に患者さんが満足する自費の総義歯治療」の方法を一冊にまとめました。

松田 謙一 先生
HILIFE DENTURE ACADEMY

堤 嵩 詞 先生
PTDLABO

推薦の一冊

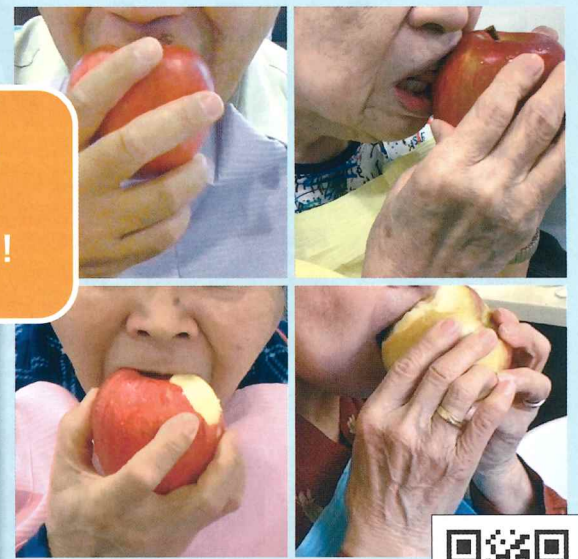
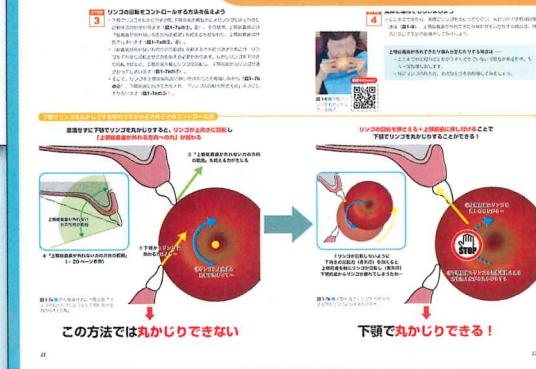
A4判 120ページ ISBN 978-4-909066-75-6 C3047
定価 9,800円＋税

現在使用している総義歯でも実践できる！

患者さんがリンゴを丸かじりできるようになる方法がわかる！



少し練習ただけで
リンゴ丸かじりが
できるようになります！



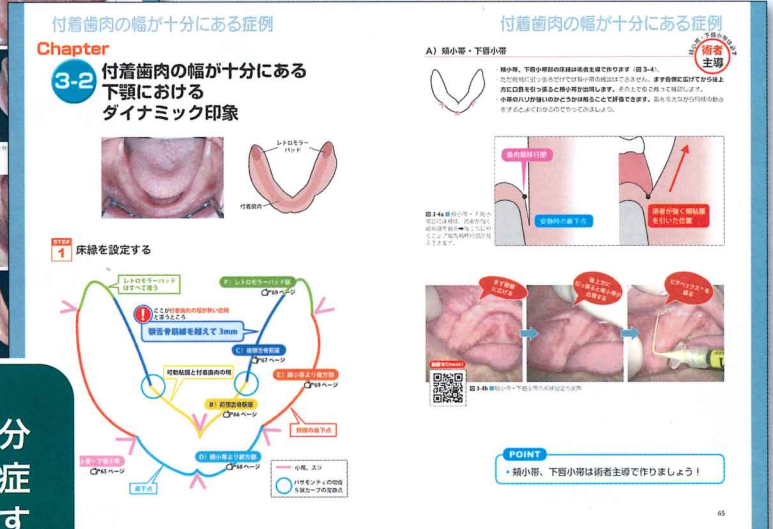
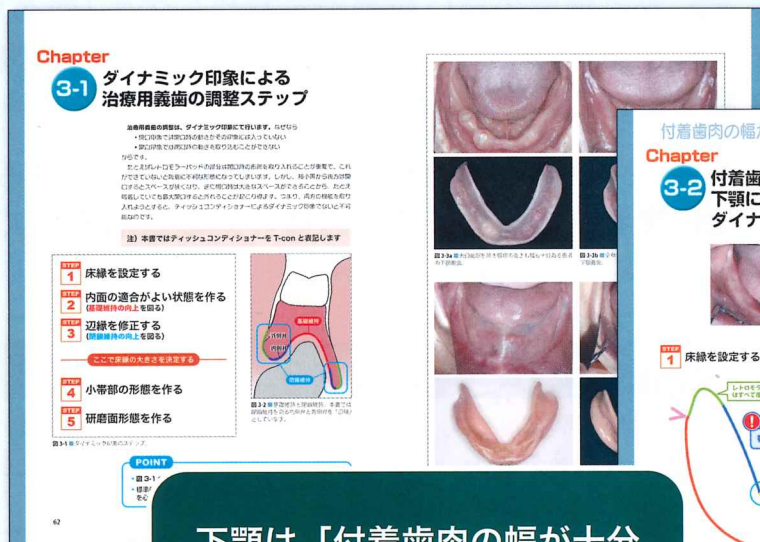
こちらのQRコードから、練習により
リンゴ丸かじりができるようになった
患者さんの様子がご覧いただけます。



普段行っている義歯製作 自信をもって質の高い総義歯

開・閉口時の機能を取り込むダイナミック印象を極める！

現義歯&治療用義歯の調製法がわかる！

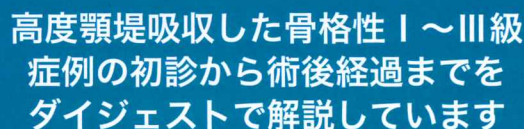


下顎は「付着歯肉の幅が十分
にある症例」と「幅が狭い症
例」を分けて解説しています

患者さんが総義歯を使いこなせるようになる方法がわかる！



総義歯治療が目指すべきゴールがわかる！



全ページの
雰囲気わかる
立ち読みはこちらから



推薦の辞(松田謙一／堤 高詞)

プロローグ もし患者さんから「リンゴを丸かじりたい」と言われたらどうしますか？

- 「リンゴを丸かじりたい」と言われた時に多くの歯科医師が考えがちなコト
- 「吸着」していても「噛めない」理由
- 誰もが気がつかなかった「噛めるようになる方法」
- 総義歯の質を高める×総義歯を使いこなす能力を高める＝「患者満足度の高い総義歯臨床」の実践

Chapter 1 まずはトライ！上顎総義歯・下顎有歯顎の患者さんでリンゴ丸かじり

1-1 まずはこんな患者さんでやってみよう

1-2 「下顎でリンゴを丸かじり」するステップ

FOCUS なぜこの方法でリンゴが丸かじりできるのか？「上顎総義歯に加わる力」について

Chapter 1のまとめ

Chapter 2 いざ挑戦！上下顎総義歯患者さんでもリンゴ丸かじり

2-1 上下顎総義歯患者ではリンゴ丸かじりが難しい理由

2-2 上下顎総義歯患者でリンゴ丸かじりするための段取り

2-3 現在使用している総義歯の評価法

▶患者さんの主観の評価

【1】OHIP-14(Oral Health Impact Profile 短縮版)

【2】総義歯の性能判定表(エイシ式)

▶総義歯の客観的な評価

【1】フードテスト

【2】維持力テスト

2-4 総義歯を使いこなすための3段階トレーニング

▶初級レベル 脱力を身につける

【1】開閉口トレーニング

【2】タッピングトレーニング

【3】舌の脱力トレーニング

▶中級レベル 総義歯の限界を知り、対処法を身につける

【1】下顎の指押しトレーニング

【2】上顎の指押しトレーニング

【3】ロールワッテトレーニング

FOCUS ロールワッテトレーニングで習得したい顎堤を守り、総義歯が外れない「正しい噛み方」

▶エキスパートレベル きゅうりやリンゴを丸かじりする方法を習得する

【1】きゅうりの細い部分(直径2横指以下)丸かじり

【2-1】下顎総義歯でリンゴ丸かじり

【2-2】上顎総義歯でリンゴ丸かじり

【3】きゅうりの太い部分(直径2横指以上)丸かじり

Chapter 2のまとめ

Chapter 3 ダイナミック印象による義歯調整法

3-1 ダイナミック印象による治療用義歯の調整ステップ

3-2 付着歯肉の幅が十分にある下顎におけるダイナミック印象

STEP 1 床縁を設定する

One Point Advice

- どんな症例でも、「下唇を唇側に軽く広げる」が基本です！
- 床縁設定前後の比較:全体的にシャープになっていることに注目！

STEP 2 内面の適合がよい状態を作る(基礎維持の向上を図る)

One Point Advice

- もっと基礎維持を向上したい場合の対応法

STEP 3 辺縁を修正する(閉鎖維持の向上を図る)

One Point Advice

- 頬側の小帯は「見て、触る」ことが一番！
- レトロモラーパッドが短い場合はペリモールドで延長しましょう

STEP 4 小帯部の形態を作る

One Point Advice

- 術者主導の動きでないと小体の動きを記録することは難しい
- 頬側床縁の最終的な形態は患者主導の機能運動により決定します
- 後日、ティッシュコンディショナーを補強する方法

STEP 5 研磨面形態を作る

3-3 付着歯肉の幅が狭い下顎におけるダイナミック印象

One Point Advice

- 顎堤吸収の著しい症例が難しい理由

STEP 1 床縁を設定する

STEP 2 内面の適合がよい状態を作る(基礎維持の向上を図る)

One Point Advice

- 「まずは痛くなく噛める状態」を目指す

3-4 上顎におけるダイナミック印象

STEP 1 床縁を設定する

STEP 2 内面の適合がよい状態を作る(基礎維持の向上を図る)

One Point Advice

- 患者主導によるティッシュコンディショナーでの内面の調製法
- STEP 2からSTEP 3に移行する前に床縁を補強しよう！

STEP 3 辺縁を修正する(閉鎖維持の向上を図る)

STEP 4 小帯部の形態を作る

STEP 5 研磨面形態を作る

3-5 治療用義歯によるダイナミック印象Q&A

Q ティッシュコンディショナーは何を使用していますか？

Q ダイナミック印象に「ゴール」はあるのでしょうか？

Q ダイナミック印象後の仕上げはどのようにしていますか？

Q ダイナミック印象後のステップを教えてください

Chapter 3のまとめ

Chapter 4 術後10年経過してもリンゴが丸かじりできる症例

ダイジェスト解説

CASE 1 高度顎堤吸収した骨格性Ⅰ級傾向総義歯患者の13年経過症例(男性・初診時59歳)

CASE 2 高度顎堤吸収した骨格性Ⅲ級傾向総義歯患者の10年経過症例(女性・初診時79歳)

CASE 3 治療用義歯を用いたトレーニングの結果、総義歯による治療を選択した骨格性Ⅱ級傾向患者の10年経過症例(女性・治療開始時60歳)

Chapter 4のまとめ

注文票

品名	定価	冊数
患者さんが総義歯を使いこなすためのトレーニング法と義歯調整法	9,800 円+税	



インターアクション株式会社

東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202

☎ 070-6563-4151 info@interaction.jp

https://interaction.jp